

路面下空洞探査車

最高時速80kmで空洞を検出，陥没事故のリスクを低減



※GRV=Ground-penetrating Radar Vehicle

探査仕様・スペック

作製	: 応用地質(株)
レーダー装置	: GSSI社製
方式	: 電磁波地中レーダ方式
測定チャンネル数	: 5ch
探査幅	: 2.0m
探査深度	: 1.5m程度
測定時最高速度	: 時速80km
空洞検出分解能	: 幅50cm×長さ50cm ×厚さ10cm以上
記録収録密度	: 走行方向に2.5cm間隔
走行時周辺画像	: 高感度カメラ4台 ラインスキャンオールソカメ
測位システム	: RTK-GPS(準天頂衛星対応) 光学デジタル距離計

【この機器ができること】

- ・ 記録収録密度2.5cm間隔のデータを取得できるため、比較的小さい空洞も検出できます。
- ・ 周辺映像を4方向（前方、後方、左右）で撮影できるため、路面の異常を目視確認できます。
- ・ ラインスキャンオールソカメにより詳細路面画像が取得でき、地物との位置を確認できます。

【この機器の特徴】

- ・ 最高時速80kmで走行しながら測定できる（道路維持作業車両登録）ため、交通規制は必要ありません。
- ・ GPS(準天頂衛星「みちびき」対応)、光学デジタル距離計、時間記録、周辺画像、詳細路面画像とレーダ記録を同期させた精度の高い位置情報を取得できます。

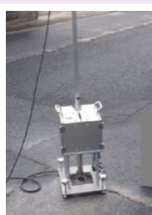
取得データの用途・活用



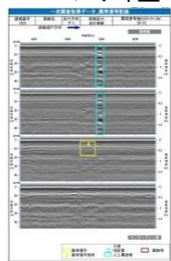
ハンディ型地中レーダ



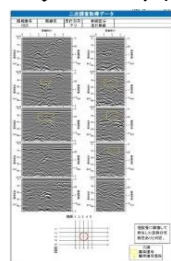
コアドリル



スコープカメラ



一次調査調書



二次調査(ハンディ)調書



二次調査(スコープ)調書



ポアホールレーザー
スキャナー

- 床版上面の調査。
- 下水道シールド工事の事前事後、施工中の路面下空洞調査。
- 道路管理者と下水道管理者が連携して路面下空洞調査を実施することで、道路下の空洞や土砂のゆるみの有無を把握することにより、埋設管内の調査では確認しにくい亀裂の見落としをチェック可能となり、陥没事故のリスクを低減。
- ガス、電気、NTT、水道管、下水道管などの埋設管調査や道路横断管などの調査。
- 電線共同溝工事の事前調査。

総合コンサルタントの強みを生かし、メンテナンス事業へ展開していきます。